

3月の園だより

令和7年3月1日
目黒区立不動保育園園長

園庭の桜のつぼみも膨らみ、春の訪れを感じられるようになりました。今年度最後のクラス懇談会や保育参観にお忙しい中参加をいただきありがとうございました。保護者の方から「園での様子が見られてよかった」「先生たちの大変さを感じました」とねぎらいの言葉もいただいたり、「保育園の給食おいしですね」「来年の参観も楽しみです」と話をお聞きできたりしました。保護者の皆さんには安心して利用していただき、子どもたちには楽しく遊べるようにこれからも保育を進めていきたいと思いました。

もうすぐ卒園お祝い会があります。5歳児だけでなく3、4歳児も式で歌う歌を口ずさんでいます。今年度は異年齢活動を多く取り入れられたことで、5歳児がいなくなると「泣いちゃうな」とつぶやく子もいて複雑な気持ちを教えてくれていますが、同時に「来年は自分たちが歌や言葉を言う」と5歳児の真似をして台詞を練習する姿に5歳児クラスになる期待もしていることが感じられています。

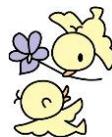
今月の予定

不動小学校1年生と交流	5歳児
卒園お祝い会	5歳児
幼児お別れ散歩	3～5歳児
お別れ会	

中旬 身体測定・避難訓練 全園児

～クラス移動日について～

- ・ 荷物の入れ替えなど、新クラスの準備をします。
- ・ 進級した保育室で現担任が保育します。
※詳細は各クラスに掲示します。
ご理解、ご協力をお願いします。



不動保育園にきて一年が経とうとしています。4月のころは「初めまして。よろしくね。」と挨拶しながら何となくお互いに距離がありました。たくさん一緒に遊ぶことで子どもたちと仲良くなれました。子どもたちが事務所をのぞき「先生」とにこやかに手を振りながら、休日にあつた楽しかったことを話してくれることもあります。「いいところ行ったね。先生も一緒にいきたかったな」と話すと「一緒には無理だけどお家ならいいよ。」なんて答えてくれる子もいます。これからも陰ながら、クラス担任と共に子どもたちと寄り添い、困ったときに頼ってもらえるような存在でありたいと思います。

(副園長)

一年間の成長した姿

《スズラン組(0歳児クラス)》



ハイハイや歩行ができるようになり、室内や戸外でも行きたいところへ行き探索を楽しめるようになりました。玩具や葉や石など好きなものを見つけると保育士のところにやってきて仕草や喃語で「あつた」と伝えてくれます。「本当だね。あつたね」などと返すと、とても嬉しそうな笑顔を見せてくれる姿に、子どもたちにとって保育園が安心できる場所になったことを実感することができました。これからも子どもたちがのびのびと好きなことややりたいことを見つけ共に喜び合うことで、遊ぶことが楽しいと思えるようにしていきたいです。

《チューリップ組(1歳児クラス)》

以前は保育士が玩具を並べお店屋さんの雰囲気を作った中で遊んでいた子どもたちですが、幼児クラスのお店屋さんごっこに参加してからはクラスでのお店屋さんごっこも盛り上がり、今ではパック積み木でお店の空間を囲ったり、玩具を並べてみたりと自分達で準備して楽しむようになりました。店員さん役の子が「いらっしゃいませ」と言うと、保育士や友達が「これ(ください)」と指さしたり「アイスくださいー」「いちごくださいー」と注文します。店員さんはカップにチェーンなどを入れて「どうぞ」や「ありがとうございました」と品物をくれます。保育士や友達とやり取りをしながら遊ぶことが楽しいという姿に成長しました。これからもやり取りをして“楽しい”という経験が味わえるようにしていきたいと思えます。

《タンポポ組(2歳児クラス)》

遊びのイメージが豊かになり友達同士と一緒に遊ぶ姿が増えました。園庭でお化け屋敷を作り、トンネルから出てくる友達にお化けの名前をつけて楽しみ、「次は(僕が)お化け役やる」と自然にやり取りしながらお化け役を交代し、友達と同じイメージの中で遊ぶ場面も見られます。また神経衰弱やしっぽ取りなどのゲームの時には悔しくて涙をみせながら「またやりたい」と楽しめるようになりました。保育士と一緒に遊ぶ中でやり取りを助けながら、友達と遊ぶことが楽しいと思える時間をたくさんつくっていきます。



《コスモス組(3歳児クラス)》

この一年間で言葉の成長が大きく、友達と遊ぶ中で言葉でのやりとりがとても増えてきました。最近では役割を決めてごっこ遊びを楽しむようになり、自分のやりたい役を伝え、相手の思いも聞き「○○役はどう?」「お姉さん役になってくれる?」とやり取りしながら遊びを進めています。また、クラスの中でも行事を終えた後や休み明けに頑張ったことや楽しかったことを発表する機会を作っています。回数を重ねたことで、緊張しながらも経験したことや思ったことを自分の言葉で表現できるようになり、話すだけでなく友達の言葉にも耳を傾け、相手の思いを知ろうとする姿も出てきました。今後も自分の思いを忌憚なく表現できるように一人ひとりの思いを大切にしていきたいです。

《マーガレット組(4歳児クラス)》

ドッチボールをするヒマワリ組の仲間に入れてもらい一緒に遊んできました。初めはその勢いに驚く姿もありましたが、今では「外野やりたい」と自分から手をあげ、積極的に参加するようになりました。負けると悔しくて泣いてしまい、なかなか立ち直れない姿もありましたが、今では負けても「次、頑張ろう」と自分で涙を拭き「勝つためにはどうしたらいいか」と友達と話し合う姿に成長を感じます。ヒマワリ組さんとのお別れに寂しい気持ちと、いよいよ自分達がヒマワリ組になる嬉しさが入り混じっている様子です。色々な活動に期待を持って取り組めるようにしていきたいと思えます。



《ヒマワリ組(5歳児クラス)》

運動会ではオープニングの聖火・縄体操・ソーラン節、冬の子ども会ではそんごくうの劇など、どの活動も一人でも欠けたら成り立たない事を子どもたち六人が理解し、一緒に乗り越えてきたことで団結力が一層高まりました。集団遊びでは、自分が負けても友達が残っていると「～ちゃん頑張って！ひまわり組最後の一人だ！」と真剣に応援しています。ドッジボールやリレーでは「～ちゃんは投げるのが上手いから外野行って！私は逃げるのが上手いから中で頑張るね」等と話しています。自分の得意な事を伝え友達の良さを認め合いながら作戦を立てる姿が見られます。残りの一か月では、子どもたちの“友達と力を合わせたい、一緒に過ごしたい”という気持ちを大切にしていきたいと思えます。